

～リチウムイオン電池による発火事故が増加中！～

近年、リチウムイオン電池搭載製品による火災が増加傾向にあります。スマートフォンやモバイルバッテリーをはじめとしたコードレスの電化製品など、身近に使用されているリチウムイオン電池ですが、その中身の正体は可燃性ガスであり、発火する恐れがあります。火災を防ぐために以下のポイントを心がけましょう。

火災を防ぐポイント！

- ① 取扱説明書を確認する
- ② 衝撃を与えない、分解しない
- ③ 燃えやすい物がある場所で充電しない
- ④ 車内など熱がこもりやすい場所での使用を控える
- ⑤ 発熱や異常な変形、膨張がある場合は、使用しない



もし、膨らんだら？

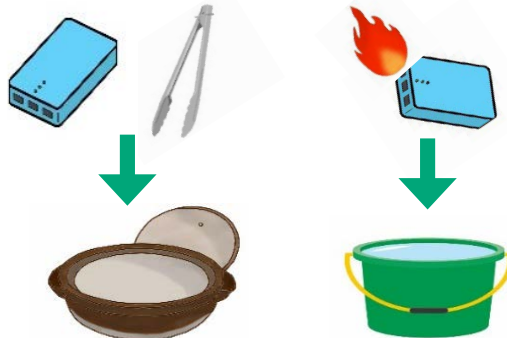
- ・手で触れず、 tong などを使用して取り扱う
- ・土鍋や金属製の容器に入れ、延焼を防止する

もし、出火してしまったら？

- ・激しく火がでている間は近づかない
- ・大量の水や消火器で消火する
- ・可能な限り水没させ、119番通報をする

廃棄方法にも注意が必要！？

リチウムイオン電池が、可燃ごみに混ざって捨てられ、ごみ収集車の中で潰れて火災になる事例が多発しています。不用品を処分する際は、購入したお店や回収協力店等に持ち込み、適切に廃棄依頼をしましょう。



～花火は正しく安全に～

夏の風物詩と言えば、「花火」。子どもから大人まで楽しめる花火ですが、使用方法を誤ると火災や火傷などの事故に繋がる恐れがあります。また、子どもだけでの花火は初期消火の対応が遅れ、火災が拡大する危険性もあります。

楽しく安全に遊ぶためにルールを守り、楽しい夏の思い出を作りましょう

花火による火災防止のルール

- ・風の強いときは遊ばない
- ・燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ
- ・肌の露出が多い服、裾の広い服を着ない
- ・子供だけでなく大人と一緒に遊ぶ
- ・説明書をよく読み、注意事項を必ず守る
- ・ライターやマッチを子どもの手の届く場所に置かない
- ・水バケツを用意し、使った花火は必ず水につける
- ・怪我や事故は、直ちに119番通報をする

衣服に火が燃え移ったら・・・ ストップ・ドロップ・ロールをしよう！



消火する手段がない場合は、慌てて走らずにその場でとまり（ストップ）、たおれて（ドロップ）、燃えている部分を地面に押し付けてころがり（ロール）、窒息消火をしよう。

沼田町
防火標語

『火の用心 「後で」と「今」で 変わる未来』

火事・救急は119番へ！

